

第34回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会

兼 第25回全国障害者スポーツ大会選考会

開催要綱

1 目的

スポーツを通じて体力の維持・増進を図り、明朗快活かつ積極的な性格と協調精神を養い、明るい生活の形成に寄与するとともに、県民・市民との交流により、障害者に対する深い理解と関心の高揚を期し、もって障害者の社会参加促進に資することを目的とする。

2 名称

第34回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会

3 主催

宮城県／仙台市／一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会／一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会

4 共催

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会／社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

一般社団法人宮城県知的障害者福祉協会／一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会

仙台市知的障害者関係団体連絡協議会／みやぎ精神障害者スポーツ推進協議会

NPO 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

5 主管

第34回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会実行委員会

一般財団法人宮城陸上競技協会／仙台市陸上競技協会／宮城県卓球協会

一般財団法人宮城県水泳連盟／宮城県ボウリング連盟／宮城県アーチェリー協会

宮城県障害者卓球協会／東北身体障がい者水泳連盟／みやぎ障害者フライングディスク協会

杜の都アーチェリークラブ／宮城県ボッチャ協会／宮城県障害者スポーツ指導者協議会ボッチャ部会

6 協力(予定)

公益社団法人宮城県医師会／一般社団法人仙台市医師会／公益社団法人宮城県柔道整復師会

一般財団法人日本水泳連盟学生委員会／東北福祉大学／東北文化学園大学／尚絅学院大学

仙台青葉学院大学／仙台青葉学院短期大学／仙台医健・スポーツ専門学校／東北保健医療専門学校

株式会社ジェー・シー・アイ／手話サークル竹の子／宮城県障害者スポーツ指導者協議会

仙台市障害者スポーツ指導者協議会

7 後援(予定)

宮城県教育委員会／仙台市教育委員会／公益財団法人宮城県スポーツ協会／仙台市スポーツ協会

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会／社会福祉法人仙台市社会福祉協議会／ 河北新報社

朝日新聞社仙台総局／産経新聞仙台支局／毎日新聞仙台支局／読売新聞東北総局／ khb 東日本放送

 NHK 仙台放送局／ TBC 東北放送／ 仙台放送／ ミヤギテレビ／ Date fm／J:COM

 fm177.1／ラジオ3 FM76.2／ エフエムたいはく株式会社

8 協賛

協賛各社

9 開催日程及び競技会場

競技・種目	大会名称	日 程	会 場	対 象
ボッチャ	第6回宮城県障がい者ボッチャ大会（☆1）	4月18日（土）	富谷スポーツセンター	身体（肢体不自由）
	第6回仙台市障害者ボッチャ大会（☆2）	4月25日（土）	仙台市宮城野体育館	
ボウリング	宮城県知的障がい者ボウリング大会（☆1）	5月23日（土）	コロナキャットボウル仙台店	知的
	仙台市知的障害者ボウリング大会（☆2）	5月16日（土）	タイトーステーション ボウルグルーバース仙台	
サウンドテーブルテニス	第28回宮城県・仙台市障害者卓球大会	5月17日（日）	仙台市宮城野体育館	身体（視覚）
アーチェリー	第34回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 －アーチェリー競技大会－	5月17日（日）	新田東総合運動場 アーチェリー場	身体（肢体・聴覚・内部※）
フライングディスク	第34回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 －フライングディスク大会－	5月24日（日）	シエルコムせんだい	身体（肢体・視覚・聴覚・ 内部※）・知的・精神
卓 球	第28回宮城県・仙台市障害者卓球大会	5月31日（日）	仙台市宮城野体育館	身体（肢体・視覚・聴覚） 知的・精神
陸上競技	第34回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会 －陸上競技大会－	6月 7日（日）	弘進ゴム アスリートパーク仙台	身体（肢体・視覚・聴覚・ 内部※）・知的・精神
水 泳	第36回東北パラ水泳選手権	6月 7日（日）	セントラルスポーツ宮城 G21プール	身体（肢体・視覚・聴覚）
	第30回宮城県・仙台市知的障がい者水泳大会			知的

【注】 ☆1：宮城県代表選手選考会（仙台市以外の居住者又は大会要項記載の出場資格を持つ者のみ出場可能）。

☆2：仙台市代表選手選考会（仙台市居住者又は大会要項記載の出場資格を持つ者のみ出場可能）。

※：内部障害は、ぼうこう又は直腸機能障害のみ

1 0 競技種目・競技方法・競技規則・障害区分

- 1) 競技種目・競技方法・競技規則・障害区分は、各競技大会要項のとおりとする。
- 2) 競技はアーチェリー、フライングディスク、ボッチャ、卓球の精神の部を除き、次の年齢区分で競技を行う。なお、年齢区分の基準日は2026年4月1日とする。
 - (1) 身体障害：1部（39歳以下）、2部（40歳以上）
 - (2) 知的障害・精神障害：少年の部（19歳以下）、青年の部（20歳から35歳）、壮年の部（36歳以上）

1 1 表彰

表彰式の実施、メダル授与等に関しては、各競技大会の実施要項のとおりとする。

1 2 大会出場資格

- 1) 宮城県内に現住所を有する2026年4月1日現在満12歳以上の者で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。もしくはその取得の対象に準ずる障害のある者、及び主催者が認めた者。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から出場できる。
- 2) 各競技大会要項の障害区分に該当する者で、大会出場に際して、健康上特に問題のない者。
- 3) 選考会の重複出場はできないものとする。ただし、団体競技において県又は市代表決定戦にて敗退した選手の個人競技への出場は認める。

1 3 出場申し込み方法

出場希望者は競技種目を選択し、別紙様式の申込用紙に必要な事項を記入の上、各競技大会要項に記載する申込締め切り日までに申し込み先へ提出すること。なお、申し込み締め切り以降の出場受付及び種目変更の受付は一切行わないので注意すること。

1 4 健康・安全管理

- 1) 出場選手の健康・安全管理については、事前に医師の診断を受けるなど、各自において十分配慮すること。
- 2) 主催者においては、大会時の傷害保険の加入と応急処置を行う以外については、一切責任を負わない。なお、競技中の負傷に対する補償は、大会において加入する保険の適用範囲内とする。普段の練習の事も含めて考えて不足と思われる際は、各自において別途加入すること。

1 5 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属する。

以上について、本大会への申込をもって同意したものとする。

1 6 その他

- 1) 大会当日における昼食・雨具等は、各自で用意すること。
- 2) 競技用具は原則として主催者で用意する。ただし、卓球のラケット、アーチェリーの弓具、および練習に使用する用具（ボール、ウォーミングアップで使用する用具等）は各自で用意すること。
- 3) 荒天や不測の事態により、競技内容を変更する場合がある。

- 4) 事前に体温を測定するなど、健康管理に努めること。体調がすぐれない者の会場への入場はできない。
- 5) こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を行うこと。
- 6) 大会開催前又は開催中に政府等から各種要請が発出された場合は、主催及び関係者で協議の上、大会日程の変更又は中止等を決定する。

17 全国障害者スポーツ大会派遣選手の選考及び派遣について

- 1) 各競技大会に出場した選手の記録（陸上競技、フライングディスクの精神の部を除く）は、下記全国大会の宮城県および仙台市代表選手団の派遣候補選手選考の参考記録となり、別途6月半ば頃に開催される各選考委員会において、全国大会主催者により指定された出場競技・選手数に基づき、障害、性別、年齢、出場経験等を考慮して最終決定される。ただし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱により、2026年4月1日現在、満13歳以上の選手が選考対象となる。

< 第25回全国障害者スポーツ大会 選手団派遣日程 >

競 技	派遣日程
陸上競技・水泳	2026年10月21日～26日（本大会10月23日～25日）
卓球・STT・フライングディスク ボウリング・アーチェリー・ボッチャ	2026年10月22日～27日（本大会10月24日～26日）

※開催地 青森県

- 2) 全国大会への派遣は、仙台市内に居住する者は仙台市から、仙台市以外の市町村に居住する者は、宮城県から派遣される。ただし、申込時に施設や学校等に入所及び通所並びに通学する者は、その所在地から参加できるものとする。

※ 選手選考・派遣に関する問合せ先

- 宮城県選手団 身体・精神障害の部：宮城県障害者社会参加推進センター
知的障害の部：一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
- 仙台市選手団 身体・知的・精神障害の部：一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会